

生命保険

近年の保険はさまざまなものが登場している。それまで保険はいくつも種類があるにもかかわらず、ほとんどがセットになっており、自由に選ぶということができなかった。経済状況が変化し、また、保険の自由化の波が押し寄せ、さまざまな保険を単品で選ぶことができるようになった。自分のライフスタイルにあった保険を選択するのが賢い選び方である。

特に高校を卒業したばかりの君たちの場合、医療保障をカバーする単品の保険を重点的に入っておけばよいだろう。結婚したり、年齢がかさんだり、生活環境が変わったら、それに応じて保険を見直せばよい。一般的に、独身ならば医療保険、結婚したらさらに死亡保障などを重点的に考えておくといわれている。子供や老後のことも考えて対策することも賢明だが、あまりに多くの保険に入ってしまったら毎月高い保険料を支払うというのは考えものだ。ちなみに保険に対する意識は日本人が一番高く、世界の中でも日本人が一番保険料を払っているようである。

税金のページでも説明したとおり、保険料は所得税や住民税の控除対象になる。(全額ではないが)

生命保険の種類

種類	内容
死亡保障	定期保険 終身保険 定期付終身保険 変額保険 一定の保険期間内に死亡したときのみ死亡保険金が支払われる。 一生涯、死亡保障が続く保険で、貯蓄機能も持つ。 終身保険に定期保険を特約として付加した保険。もっともポピュラー。 運用実績に応じて保険金・解約返戻金の額が増減するハイリスク・ハイリターン型の保険。
老後・貯蓄保障	養老保険 個人年金保険 変額個人年金保険 学資保険 一定の保険期間内に死亡した場合は死亡保険金が、死亡せずに満期を迎えれば同額の満期保険金が受け取れる。 老後の年金を目的とした保険。一生涯、年金を受け取れるものや、10年・15年など一定期間受け取れるものがある。 運用実績に応じて年金・死亡保険金・解約返戻金の額が増減するハイリスク・ハイリターン型の年金。 親の万が一に備えると同時に、こどもの教育資金を計画的に準備するための保険。
医療保障	医療保険 がん保険 病気やケガなどで入院したり、所定の手術をした場合に給付金を受け取ることができる保険。 がんにより入院したり、所定の手術を受けたときに給付金を受け取れる保険。

保険会社の選び方

近年は経済状態が悪く、経営が危うい保険会社が増えている。合併やリストラなどの企業努力によって活力を戻しつつあるが、やはり消費者である私たちとしては安心できる保険会社を選びたい。そこで参考となる指標を2つ紹介する。

格付け(スタンダードプアーズ社やムーディーズ社提供)

保険会社を次のように格付けしている。インターネットや雑誌に掲載されている。

1)AAA 2)AA+ 3)AA- 4)A+ 5)BBB 6)BB+ …

ソルベンシーマージン比率

ソルベンシーマージン(solvency margin)とは「支払余力」を意味する。簡単に言えばちゃんと補償時にお金が支払われているかということで、パーセント(%)で表す。高いほど良く、通常200%を超えれば問題ないと判断して良いだろう。

保険の選び方

基本的に自分で好きなように選べばよい。次のアドバイスは多くの人が見落としやすい点なので参考にして欲しい。

単品で必要なものだけを契約する。(君たちは若いので、とりあえず医療保険を中心にするとよい)

様々な保障を組み合わせることをウリにした総合的な保険でも構わないが、保険は必要最低限あればよい。(と思う)

特約に注意

特約とは、主契約に付随したサービス。良い条件のものもあるが、主契約が満期を迎えると、特約も自動的に切れるので注意。

保障範囲をチェック

例えば、足の指を切断する怪我をおったとき、契約書には足は保障するが、足の指は保障外で、一円ももらえなかったなんてこともある。